

2019 年度 第 1 回音楽科特別教育計画

第 7 回 仙台国際音楽コンクール ピアノ部門 審査副委員長

マッティ・レカッリオ 先生 (ピアノ)

による

公開レッスン & 講座

日時 2019 年 6 月 5 日 (水) 18:00~19:30

会場 音楽館ハンセン記念ホール



マッティ・レカッリオ先生をお招きし、公開レッスンを行います。

また、講座では質疑応答形式でお話いただきます。

公開レッスン

受講生 庄子 三未(音楽科 3 年)

受講曲 F.リスト 作曲 巡礼の年 第 2 年「イタリア」より ペトラルカのソネット 第 104 番〔予定〕

※通訳 西村 美恵(宮城学院女子大学音楽科〈文化系〉卒業。アメリカ・カンザス大学にて修士、並びに博士課程修了)

マッティ・レカッリオ Matti RAEKALLIO 先生 プロフィール

1954 年、フィンランドのヘルシンキ生まれ。母国でピアノを学び始める。英国のロンドンでマリア・クルツィオ＝ディアモンドに、オーストリアのウィーン国立音楽大学でディーター・ウェーバーに師事し、ロシアのレニングラード(現在のサンクトペテルブルク)音楽院で学ぶ。

1981 年、カーネギーホールでアメリカデビュー。コンサートにおいて、ベートーヴェン、スクリャービン、プロコフィエフのピアノソナタのチクルスを成し遂げ、62 曲のピアノ協奏曲を演奏した。CD 録音は 20 枚ほど行っており、中でもプロコフィエフのピアノソナタ全集は高く評価されている。

ヘルシンキのシベリウス音楽院で 30 年間指導し、ストックホルム音楽大学や西ミシガン大学でも教授を務めた。2005 年にはハノーファー音楽演劇大学、2007 年にはジュリアード音楽院の教授に就任。現在もジュリアード音楽院で指導しながら、バード大学音楽院、オベリン音楽院でも非常勤教授を務める。

シベリウス音楽院での博士課程(音楽学)では、ピアノ運指の歴史研究に焦点を当てていた。その後、国際研究チームの一員となり、認知心理学の観点からピアニストの指使いの選択についての研究を行う。デンマークのレオニー・ソニング財団奨学金を 1980 年に授与され、フィンランド政府の 5 年間のアーティスト奨学金を 3 度授与されている。

1998 年から 2000 年のフィンランド文化研究協議会メンバー。2009 年にはエストニア音楽アカデミーの名誉博士に任命された。

主 催 宮城学院女子大学学芸学部音楽科

お問い合わせ 〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘 9-1-1 TEL/FAX 022-277-6130(学芸学部音楽科)

music@mgu.ac.jp URL <http://www.mgu.ac.jp/~music/>

協力 仙台国際音楽コンクール事務局

入場無料